

交野市教委ニュース

第51号 (平成28年11月25日発行)

小・中学校が連携した子どもの育み

交野市の小・中学校では、小学生の中学校クラブ体験や中学校体験授業などを各中学校区で取り組んでいます。小学校から中学校に進学する時の不安を取り除き、希望を持って中学校に入学できるよう、また、「カッコいい中学生」を身近に感じられるよう、各中学校区で行っているものです。11月24日には第三中学校で校区の星田、妙見坂、旭の3小学校の6年生が体験授業を受けました。

また、11月16日には、小中連携公開授業として第二中学校区の小・中学校3校が全学級公開授業を行い市内の全教職員が参観するとともに、その後、ゆうゆうセンターにて全体会を開き、大阪府教育センター小中学校教育推進室長 一柳 康人 氏に講演をしていただきました。

第三中学校体験授業 (国・社・数・理・英の5教科それぞれ2講座、計10講座を開設しました)
体育館では、静かに集合・整列し、講座ごとに移動して行きます。講座は3つの小学校6年生の混合クラスです。



理科講座 (理科1と理科2に分かれて、それぞれ興味のわく授業です) では・・・

理科1では花火の色が何によって決まるのか、理科2では顕微鏡でさまざまなミクロの世界を覗いていました。また、「なぜ、理科室の水道にはホースがついているのか」から、安全に関する話もありました。



11月16日小中連携推進事業 全体会 (ゆうゆうセンターに市内の教職員が集まりました)



当日は、二中校区での授業見学の後ゆうゆうセンターへの移動と時間的にあわただしかったのですが、教職員皆熱心に全体会に参加していました。全体会では、第1部が市教委指導主事による「二中校区の取組みと授業スタンダード」について、第2部は大阪府教育センター一柳室長による、場を和やかにさせる話術とともに、「2030年を生きる子どもたち (これからの学校の役割)」との演題で内容の濃いお話でした。